

〒244-0002 横浜市戸塚区矢部町125

電話 045-881-0348 FAX 045-392-6043

E-mail: mail@zenryouji.jp http://www.zenryouji.jp

発行責任 善了寺 還る家とともに 1月担当：三根

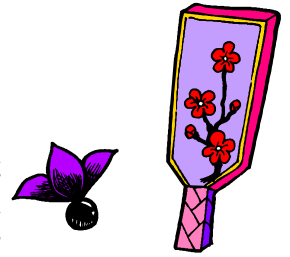
## ～謹賀新年～

**明けましておめでとうございます。****昨年中はたいへんお世話になりました。**

デイを通じて、皆様との楽しく充実した日々をボク自身が過ごさせてもらうことが出来ました。その中でいくつかのお別れもありました。一人の方の訃報の数時間後に別の方の訃報が入る事もあり、モチベーションを保つのが難しい時もありました。気持ちが揺れるという事はプロとしては失格なのかもしれませんが、ありのままの、未熟で弱い僕たちを受け止めてくださったご利用者の方々、ボランティアをはじめ支えて下さっている皆様のお陰で前を向いて進むことが出来ました。ありがとうございます。同時に、新しい素敵な出会いもありました。今後も一日一日を大切にしながら頑張っていきたいと思えます。

**本年もよろしく願いのいたします。**

また、今年には2月に冬季ソチオリンピック、6月にはサッカーワールドカップ・ブラジル大会が開催されます。サッカー好きのボクにとっては南アフリカ大会から早4年。前回大会はベスト16まで駒をすすめました。今大会は如何に。大きな楽しみと同時に寝不足の予感が……



## ～回想法的に善了寺米を食す～

①5月のGW過ぎ、みんなで室内でまったりしている所、ボクが駄々をこねて手伝ってもらいました(^\_^)まずは、ここからスタートです。稲は成宮造園より頂きました。有難うございます。



②9月末、これが善了寺流稻刈り！写真には写っていませんが職業体験の中学生も一緒にチョッキン・チョッキン頑張ってくれました～



③大分省略しましたが、地道に脱穀、精米しました（様子は先月号の通りです～）。12月上旬、どのように食べるか試案に試案を重ね、結果おはぎに決定！当日は炊飯ジャーが作動しないというトラブルも鍋でご飯を炊き、みなさんと美味しく頂きました。



## スタッフ山ちゃんよりのお知らせ

新年を迎えましたが、そろそろ日常の落ち着きに戻りつつある頃でしょうか。毎年巡ってくる年ではありますが、私には少々感慨深い新年のスタートとなりました。実は、昨年の11月をもって、「還る家とともに」のデイサービスのスタッフを退職致しました。少し急でしたので、お伝えできなかった方も沢山いらしてご挨拶が遅れ大変申し訳ありません。ご利用者様のご家族の皆様、そしてお寺の皆様、またお手伝いを頂いているボランティアの皆様方々にはこの場をお借りして、長い間大変お世話になりましたことを心より御礼申し上げます。振り返るといろいろな思い出があふれてきます。初めてデイに来た日に、畑でnさんと筍を掘ったことは、今思い出しても感動してしまいます。フラワーセンターや鶴岡八幡宮へのドライブ、柏尾川沿いの桜の下での記念撮影、皆さんと歩いた舞岡公園。部屋で楽しんだゲームや歌。入浴のお手伝いをさせていただいた時には、昔話を伺ったり、私の悩みごとにも真剣に耳を傾けて下さいました。また仕事で落ち込んだ時には仲間が支えてくれて…お昼のボラさん手作りのお料理は心まで癒されました。皆さんの温かさに包まれた日々に本当に感謝しています。お寺という環境の中で、仕事のみならず多くのことも学ばせて頂き、貴重な体験を沢山させていただきました。話したら尽きないほど思い出が詰まった日々。「還る家とともに」の5年間は私の人生の財産となっています。仕事は残念ながら辞めることとなってしまいましたが、頂いた財産をこれからの人生に活かして行きたいと思っています。

また皆さんに会いたくなって、お寺に足が向いてしまうと思いますが、その折はどうぞ宜しくお願い致します。寒さも本格的になる頃となってきましたのでどうぞお体ご自愛ください。私も皆様にお会いできるのを楽しみに日々頑張りたいと思っています。

山村和子

## ♪杉ちゃんのつばやき♪

私は驚き興奮しました。何しろ善了寺にお世話になって8年目にして初めて、境内の柿の木に艶やかな柿の実がなっているのを目にしたのですから。その渋柿をデイの皆さんが干し柿にしてくれました。予想以上の美味しさに感激しつつ外の干し柿を眺めていると、ふとこの5月に逝ってしまった父のことを思い出しました。私が幼少期に住んでいた裏庭には、屋根よりも高いそれはそれは大きな渋柿の木がありました。そこにのこぎりを手にした父が颯爽と登り柿の実をとっている情景が、何十年振りか目に浮かんできたのです。思春期には毎日酒を飲み酔っ払ってだらしくなる父が嫌いでしたが、その頃は父の膝の上にちょこんと座って甘えていたっけ…なんて思い出に浸っていると「雨が降ってきたんじゃない?」「ほら風が出てきた」「ほらほら、早く中に入れなさい!」と、矢継ぎ早におかあさま方のいつもの騒々しい(わ～、御免なさい…)声が耳に入ってきました。現実に戻った私は、これまたいつものようにあたふたと外の柿たちを避難させたのでした。

お寺では四季折々の恵みが頂け、それに伴って色々な人の顔が浮かんでくるのですが、今回の初めての柿の実りは私には父からの贈り物に思えたのでした。

杉本信子

## 【オムツ外し学会2014横浜】のお知らせ

新しい介護の三好春樹さんが主催し、還る家ともにも所属しているよこはま地域ケア研究会が共催しているオムツ外し学会が下記の日程で開催されます。今回は11月号のニュースでスタッフの吉田からの報告のあった富山の共生型サービス「ふらっと」代表の宮袋季美の講演もあります。興味のある方はスタッフまで

日時：2014年2月16日(日) 10:00~16:30

場所：ウイリング横浜12F(上大岡) 参加費：4000円

## 編集後記

あけましておめでとうございます。去年は、お世話になりました。本年も、よろしく願いいたします。

昨年末、3年前に退所された小池巴さんのお誕生日に、面会に行きました。毎年、お誕生日にお伺いし、今年も一年ぶりの再会。94歳ですから「私のこと覚えてくれているかなあ?」と不安になりながら、声を掛けると、「あたりまえじゃない!! 忘れないわよ!!」と、元気な調子の小池さん。「私は幸せ者なのよ♥ 両親もかわいがってくれたし、友達が多くて、ケンカしたこともない。主人も良い人だったし、息子も嫁もとても良くやってくれる。年を取ったら、主人が働いた年金で、上げ膳据え膳でこういう所に入れてもらえて、幸せよ♥」満面の笑みで、何度も何度もおっしゃいました。でも、94年生きておられたら、辛い事も泣きたい事も愚痴もあると思うのです。なのに、それを、一切言わないで、前向きに明るくとらえて、自分の人生を幸せと振り返る小池さんを、私は、尊敬しています。私は、今でも、毎日のように、自分自身を可愛がるがゆえに、人のせいにし、愚痴だらけの日々です。昨年末も、尊敬する小池さんに会って、元気を頂きたいと楽しみにしています。

## ボランティアさん

善了寺に関わってくださっている沢山の方々にデイサービスは日々支えられています。いつもあたたかい気持ちと笑顔を持ちよって寄り添って下さることにあらためて感謝申し上げます。

敬称略

中嶋芳江 秦野かねよ 安藤信子  
竹中秀子 山下トキエ 西岡美都里  
寺島美代 朝倉好子 別府与志子  
濱崎芳子 市野和歌子 弓削福子  
矢口和子 秦野雅子 飯島慶子  
米村正男 小寺久枝 江田峯子  
中島雄子 村井ヒテ子 江尻伸子  
鳥巢スエ子 牛島寛子 橋本淑子  
長澤千ヨ子 福寿貴美恵 犬塚照夫  
松村節子 秦野宣子 大金スエ子  
梅本忠男 小林ミエ 林ヨシ子  
松田良子 森谷ミヨシ 山田ヒロ子  
増村隆 穴山よしお 乾隆子  
磯地正人 内田佐知子 砂川元枝  
長岡綾子